



成年女子決勝は、広島県と青森県が対戦。1番手、2番手井以上、広島県5人が、回転量の多い攻撃を軸に攻め、2点を挙げる。3番の土田も、接戦となるが要所で得点し決勝点をあげ、広島県が6年ぶりの優勝を決めた。

準優勝は、青森山田OGメンバーの青森県。ベスト4には、岡山県、静岡県が入った。

「国体は特別編成チームが多い中、私たちはいつものメンバー。いつも通り試合ができました」と松岡監督



土田美佳
ピッチの早い攻撃。決勝では見事なカット打ちを披露した



「2016希望郷いわて国体」第71回国民体育大会が10月2~5日まで、奥州市総合体育館で行われた。

成年男子は、愛知県と山口県が決勝で対戦。結果は愛知県がストレートで勝利したが、この試合もフルゲームで、手に汗握る試合展開であった。ベスト4は、京都府と和歌山県、京都府は、トーナメント2回戦で、昨年度優勝の東京に勝利。和歌山県は平成12年開催以来のベスト4に入賞した。



吉田雅己
的確な状況判断から繰り出す攻撃を見せた。ミスも少なかった

成年女子 Women's

成年男子 Men's



3位 ▼ 岡山県

田代早紀
安定した両ハンド攻撃で、予選リーグの岐阜県戦では2点取りの活躍

永尾亮子
威力十分の両ハンド攻撃は得点率が高かった



準優勝 ▼ 青森県



鈴木李茄
回転量の多い両ハンド攻撃で、ラリー戦にも強さをみせた



準優勝 ▼ 山口県



平野友樹
振り切る両ハンド攻撃は回転量が多く、コース取りもよかった



3位 ▼ 京都府

和歌山県 3位 ▼
大島祐哉
2回戦では昨年度優勝の東京都と対戦。松平健太に勝利するなど、存在感を示した

藤本海統
プレー領域を選ばず、どこからでも両ハンド攻撃で得点をあげた





梅村優香

少年女子決勝は、大阪府と東京都の顔合わせ。世界でも結果を出している加藤東京が2点取るも、大阪は、木村、梅村、出雲の3人がそれぞれ勝利をあげ優勝を決めた。ベスト4には、大阪府と3対2の試合を演じた神奈川チームの雰囲気良かった岡山県が入った。

異質ラバーが効果発揮、バックの攻撃と、フォアのコース取りのよさで得点を重ねた

少年男子は、愛知県と宮崎県が決勝で対戦。宮崎県は、石川県をストレートで下し勢いに乗っており、トップの内村は、松山愛知県に対し素晴らしいプレーでリードする。しかし松山が4ゲーム目以降、思い切りの良い攻撃でリズムを掴み逆転勝利を挙げる。2番の木造、3番の緒方も接戦となるが、最後まで攻めて、優勝を達成した。第3位は、石川県、山口県が入った。

準決勝の山口県戦では劣勢の展開となったが、戦術を上手く転換し逆転勝利をあげた



木造勇人

全員が愛知県出身の選手。ですから、なおさら嬉しい優勝になりました」と今枝監督

少年女子 Girl's

少年男子 Boy's



3位 神奈川県

三浦萌香
バックハンド攻撃は相手がやりずらく、ミスを誘った。フォアハンドも良かった

木村光歩
フォアハンド攻撃の威力が増し、バックハンドとのコンビネーションもよかった



準優勝 東京都



加藤美優
独特のリズムで繰り出す両ハンド攻撃で今大会全勝。決勝でも2点あげた



3位 岡山県



準優勝 宮崎県

「全試合、思い切って攻めることができたので決勝に行くことができました。選手のおかげです」と坂元監督



内村英司
打点の早い両ハンド攻撃、攻められてもしっかりコースを突けるスタイルで活躍



3位 山口県



竹崎千明
広い守備範囲で、相手の強打を何本も広い、つないできたチャンスボールを反撃して得点をあげた



3位 石川県

五十嵐史弥
一度攻撃したら止まらない攻撃スタイルは相手に脅威を与えた



BEST 8 福井県 高知県 埼玉県 福岡県



東京都 福岡県 高知県 大阪府 BEST 8